

はじめに

平成 27 年度は、第二期中期目標期間（平成 22 年度～平成 27 年度）の最終年度として、国立大学法人評価（中期目標達成状況評価）の準備と、第三期中期目標・中期計画の策定を行った。また、平成 25 年度海事科学部改組の 3 年目を迎え、総合ゼミの開講、2 ヶ月間の船舶実習初年度として月制集中授業の実施など、改組学年進行による学部専門科目の対応を行った。

10 月には全学組織として海洋底探査センター（KOBEC）が深江キャンパス内に設置され、教育研究における活動及び責任の範囲が拡大し、学内外の部局・組織との連携活動が高まりつつある。

また、平成 27 年度には、若手教員 4 名（4 月：女性准教授，インセンティブ助教，7 月：助教，10 月：特命講師）を新規採用し、海事科学研究科の活力が高まった。

さらに、2017 年に迎える海事科学部創基 100 周年のため、記念事業実行委員会を立ち上げ、第二世紀への進展を目指している。

本報告書の目的は、平成 27 年度に行った諸活動の自己点検及び自己評価を行い、次期以降の活動計画の参考材料を提供することである。

第一編では、平成 27 年度に関わる年次計画を 9 項目にまとめ、各々の項目について、目標と対応状況及び自己評価を記載した。

第二編では、平成 27 年度の年次計画 9 項目の自己評価に用いた根拠データを含めた活動内容、即ち、学部における教育活動、大学院における教育活動、研究活動、国際交流活動、社会連携活動、高大連携活動の詳細及び諸活動を実践する上での各種委員会の活動と附属センターの活動を記載した。

第三編では、平成 27 年度のトピックスとして、登録 ECDIS 講習の導入経緯および実施状況を示すと共に、2 年目を迎えた教育関係共同利用拠点としての練習船深江丸の利用実績を記載した。